

# 都道府県 CI・予測 CI（景気動向指数・12月予測） ～消費・雇用分野が回復しプラス

2022年12月7日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

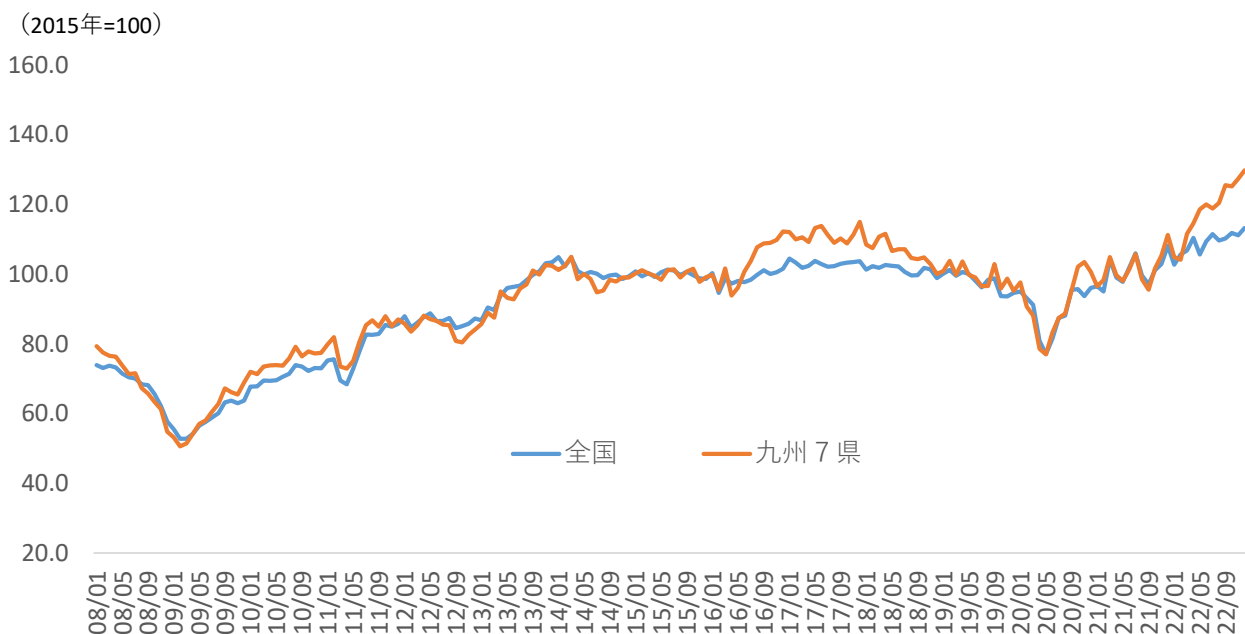
九経調では、2020年4月から全国の地域ブロック別、都道府県別の景気動向指数（都道府県 CI）<sup>1</sup>を作成し公表している。加えて、政府統計等が公表されていない足元までの期間について、インターネット上の日次データや機械学習の手法を用いて、都道府県 CI の 3 カ月先を予測した景気動向指数の予測値（予測 CI）<sup>2</sup>を DATASALAD にて公表している。本稿では、2022年11月末日までの統計、インターネット上のビッグデータを用いて推計した 2022年12月の予測 CI を解説する。

## 2022年12月の九州7県の予測 CI：2カ月連続プラス

2022年12月における九州7県の予測 CI は前月比 1.9% の 129.7 となり、2 カ月連続でプラスとなった。都道府県 CI は、新型コロナウイルス感染者の減少等に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の解除により 2021年10月にプラスに反転した。2022年7月はコロナ感染拡大第7波の影響が顕在化しマイナスとなったが、CI 確報値となった 8、9 月プラスとなった。11 月より再び前月比プラスとなり、12 月も消費・雇用分野の回復からプラスが続いた。

なお、全国は前月比 1.9% の 113.2 となった。九州と同様に消費・雇用分野の先行系列がプラスとなった。

図1 都道府県 CI、予測 CI（全国、九州7県）



注1) 2022年9月までは実績値（都道府県 CI）、2022年10月～12月は予測 CI

注2) 2022年12月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

## 2022年12月の九州地域の予測CI：全県でプラス

2022年12月における九州地域（九州7県・沖縄県・山口県）の予測CIを県別にみると、全県で消費分野あるいは雇用分野の先行系列が回復しプラスとなった。プラス幅が大きい山口県（前月比+2.1%）、佐賀県（同+4.4%）、沖縄県（同+4.1%）は雇用分野のプラス幅が他県より大きかった。宮崎県は消費分野のプラス幅が他県よりも大きい。熊本県は消費分野に加えて生産分野のプラス幅が大きく、指数が上昇した。

表1 都道府県CI、予測CI（全国、九州地域）

|      | 指数（2015年=100） |       |       |       |       |       | 前月比（%）      |      |      |      |      |     |
|------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|------|------|------|------|-----|
|      | 都道府県CI        |       |       | 予測CI  |       |       | 都道府県CI      |      |      | 予測CI |      |     |
|      | 2022年<br>7月   | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 2022年<br>7月 | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月 |
| 全国   | 111.5         | 109.6 | 110.2 | 111.8 | 111.1 | 113.2 | 1.9         | ▲1.7 | 0.5  | 1.5  | ▲0.7 | 1.9 |
| 九州7県 | 118.8         | 120.4 | 125.5 | 126.3 | 127.3 | 129.7 | ▲1.0        | 1.3  | 4.2  | ▲0.3 | 1.7  | 1.9 |
| 山口県  | 102.5         | 99.1  | 98.7  | 101.6 | 102.5 | 104.7 | 1.4         | ▲3.3 | ▲0.4 | 2.9  | 0.9  | 2.1 |
| 福岡県  | 105.2         | 124.9 | 120.1 | 123.2 | 123.0 | 124.6 | ▲7.1        | 18.7 | ▲3.8 | 2.5  | ▲0.1 | 1.3 |
| 佐賀県  | 94.3          | 91.7  | 95.6  | 101.2 | 102.2 | 106.7 | 3.5         | ▲2.8 | 4.3  | 5.9  | 0.9  | 4.4 |
| 長崎県  | 106.8         | 106.6 | 116.0 | 120.2 | 120.4 | 121.6 | ▲9.5        | ▲0.2 | 8.8  | 3.6  | 0.2  | 1.0 |
| 熊本県  | 139.2         | 140.5 | 147.7 | 164.3 | 169.7 | 172.0 | ▲4.0        | 0.9  | 5.1  | 11.2 | 3.3  | 1.3 |
| 大分県  | 107.2         | 105.5 | 106.7 | 107.7 | 112.3 | 112.8 | ▲8.8        | ▲1.6 | 1.1  | 0.9  | 4.3  | 0.5 |
| 宮崎県  | 105.9         | 105.9 | 110.6 | 118.0 | 116.7 | 118.7 | ▲5.7        | 0.0  | 4.4  | 6.7  | ▲1.1 | 1.7 |
| 鹿児島県 | 124.9         | 123.3 | 121.6 | 123.3 | 126.0 | 126.3 | ▲2.5        | ▲1.3 | ▲1.4 | 1.4  | 2.1  | 0.3 |
| 沖縄県  | 108.9         | 106.5 | 107.4 | 113.2 | 115.9 | 120.7 | ▲0.5        | ▲2.2 | 0.8  | 5.4  | 2.4  | 4.1 |

注1) 2022年9月までは実績値（都道府県CI）、2022年10月～12月は予測CI

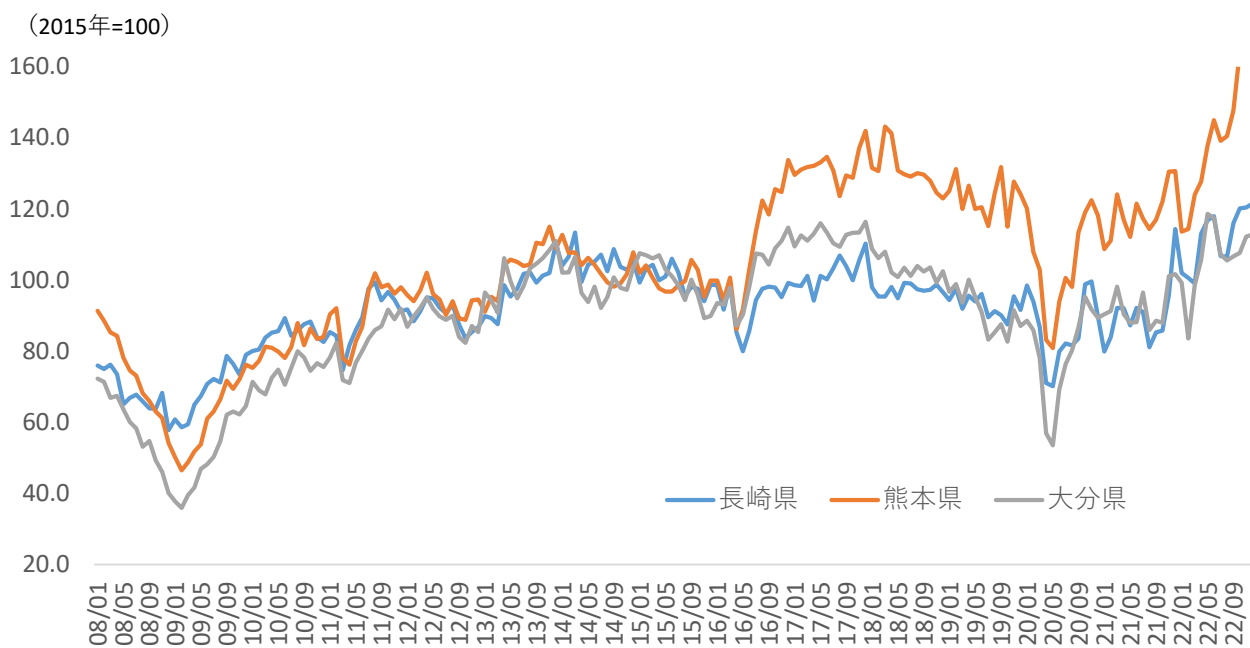
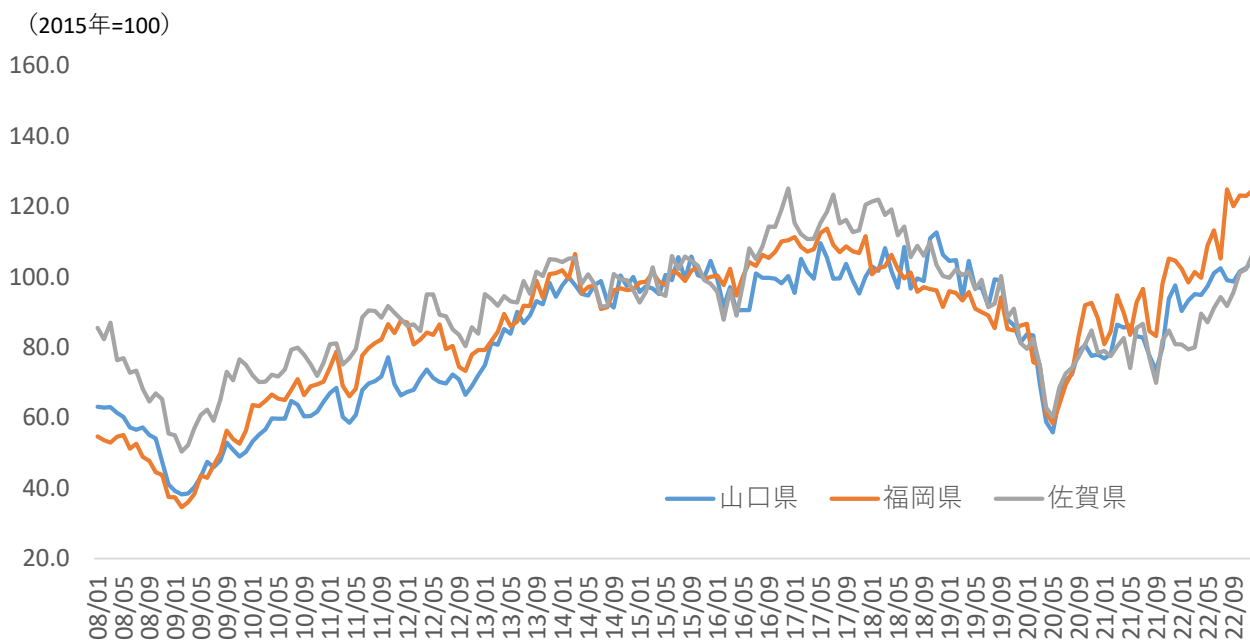
注2) 2022年12月1日時点の値

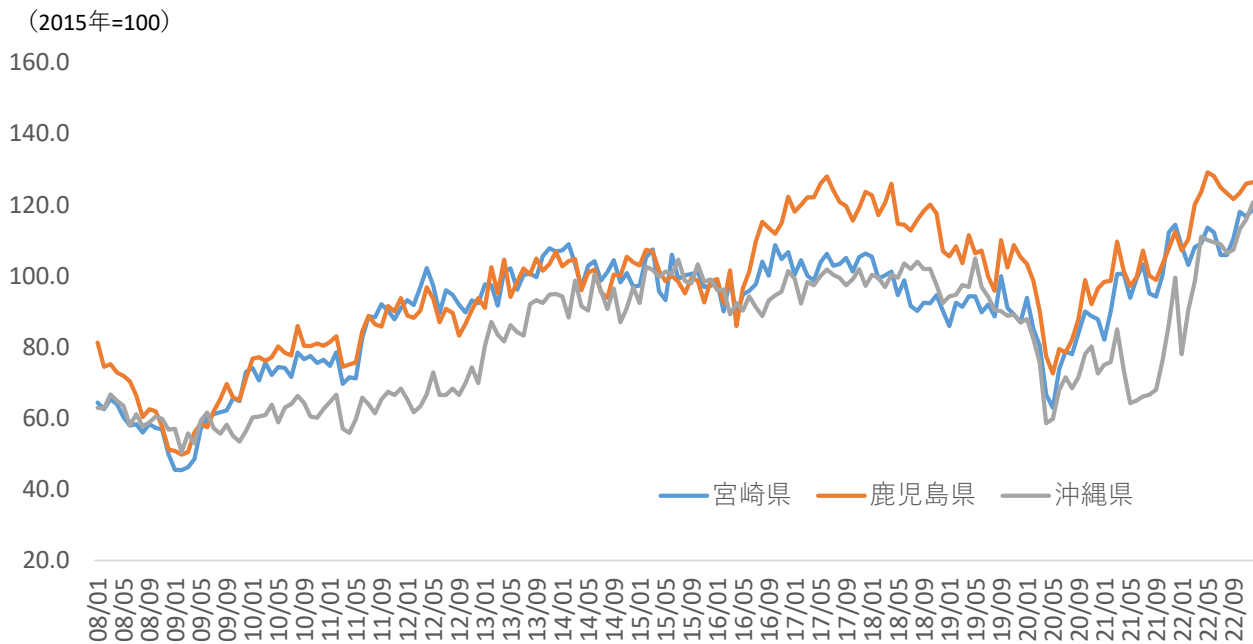
資料) 九経調 DATASALAD

松嶋 慶祐（調査研究部 次長）

E-mail:matusima@kerc.or.jp

図2 都道府県 CI、予測 CI (県別)





注1) 2022年9月までは実績値(都道府県CI)、2022年10月～12月は予測CI

注2) 2022年12月1日時点の値

資料) 九経調 DATASALAD

- i 景気動向指数(CI)は、生産、雇用など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感に反応する指標の動きを統合することによって、景気の現状把握を行うための総合指数である。九経調が公表している都道府県CIは、内閣府が公表するCIの作成方法を踏襲し、さらに都道府県・地域で共通する指標を用いつつ、景気変動を反映する主要分野の動向を網羅している。このことにより、的確に地域の景気動向を把握することができ、さらに、都道府県間、地域間での比較が可能である。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐、三井栄「CI手法の応用による九州地域の景気分析と景気予測の可能性」九州経済調査月報2019年11月号

- ii 予測CIは、機械学習を用いた線形回帰モデルを用いて、都道府県CIを予測したものである。経済指標のほか、気象データ(気温や降水量)など、景気の動向に影響を与えると想定されるデータを説明変数として投入し、機械学習によってモデルを作成している。予測CIは全国、地域ブロック、九州地域(九州、沖縄県、山口県)の県別値のみ推計している。

詳細は下記レポートを参照されたい。

- ・松嶋慶祐「日次データと機械学習の活用による景気予測」九州経済調査月報2020年1月号